

令和4年度第2回大阪府立青少年海洋センター指定管理者評価委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和5年2月6日(月) 15:00~16:20
- 2 開催方法 オンライン会議システムによる開催
(傍聴会場 大阪府庁・別館6階 子ども家庭局 会議室)
- 3 出席者 評価委員会：横山委員長、岩田委員、玉置委員、浜口委員
本館・ヨットハウス指定管理者：ナンブフードサービ(株) 梁村代表取締役
大阪府立青少年海洋センター 田中副所長
大阪府立青少年海洋センター 武村マネージャー
ファミリー棟指定管理者：NPO 法人 Re-Live 北野理事長

4 議事内容 (◇：委員 →：指定管理者 ⇒：事務局)

(1) 本館及びヨットハウス指定管理者による令和4年度施設運營業務に係る自己評価の報告

→ (本館及びヨットハウス指定管理者入室、自己評価を報告)

◇ 参加者や参加された子どもの保護者から、フェイスブックやインスタグラムを見たとか、何か好評を得たといったことがあれば教えていただきたい。

→ 主催事業に関しては、フェイスブックもしくはインスタグラムに必ず1日1回以上投稿しており、リピーターの保護者からは、子どもの様子がよく分かるということで、感謝いただいている。

◇ そういう参加者や参加された子どもの保護者からもどんどん情報を拡散していただければ、数字として現れてくると思うので、引き続きそういった形での情報発信をお願いしたい。

→ (本館及びヨットハウス指定管理者退室)

(2) 施設所管課による令和4年度施設運營業務に係る評価結果の報告

⇒ (事務局から施設所管課の評価結果を報告)

◇ 評価結果については異議なし。

(3) ファミリー棟指定管理者による令和4年度施設運營業務に係る自己評価の報告

→ (ファミリー棟指定管理者入室、自己評価を報告)

◇ コロナ禍も収束に近づいてきていると感じており、水際対策もだいぶ緩和され、インバウンドもかなり増えてきている状況だと思う。まだ実際の運営には至っておらず、現在は、理事長一人で色々頑張っておられるということだが、当初イメージされた計画から、今後に向けての変更点や、事情が変わってきたと思われることなどはあるか。

→ まず、この事業計画を最初に構想した時点で既にコロナ禍という状況だったので、特に大きな方針転換は考えていない。むしろ指定管理を受ける当初よりも、明るい兆しが見えていると感じている。特にインバウンドに関しては、別でインバウンド向けの宿泊施設の清掃管理業務を行っており、昨年10月以降、そちらのインバウンドの集客が想定より増えている。おそらく今後、2025年大阪万博まで、それ以降も当初想定していた以上に、インバウンドの集客が期待できるのではないかと考えている。ただ、ファミリー棟は青少年の健全育成のための施設であり、通常の宿泊施設のようにインバウンドを対象に含めていくと、施設の設置目的とずれてしまう部分が出てくるとも考えており、青少年

の健全育成とインバウンドをどのように結びつけていくか、企画をしっかりと作り込んでいかなければいけないと思っている。

◇ 理解されているように、青少年の健全育成のための施設ではあるが、一方で集客や稼働率も重要になってくるので、そういったところも含めて主催事業や関係各所への取組み等を検討いただけたらと思う。

→ (ファミリー棟指定管理者退室)

(4) 施設所管課による令和4年度施設運営業務に係る評価結果の報告

⇒ (事務局から施設所管課の評価結果を報告)

◇ 評価結果については異議なし。

◇ 今後、コロナ禍が終息したときに、本当に当初計画どおり運営できるかいうところが少し不安に感じている部分ではある。事業計画ではグランピングやトレーラーハウスでのキャンプなどの提案もあったが、みさき公園の跡地や泉南市、貝塚市にもグランピング施設ができたりしているので、そういった点も踏まえて、今後の経営状況がどうなっていくのか不安もあるが、今後の指定管理者の色々な努力や企画には期待していきたいと思う。